

旅行命令権者	部・課長	決 裁 欄

## 出張復命書

環境総合研究センター 殿

平成20年8月26日

(部局等) 滋賀大学環境総合研究センター

(職 名) 教員

(氏 名) 中村 正久 印

このたび出張しましたので、下記のとおり復命します。

旅行期間	平成20年7月28日(月)～平成20年7月29日(水) 平成20年8月1日(金)～平成20年8月2日(土)
用務先	国際湖沼環境委員会 (ILEC)
用 務	文科省「湖沼流域ガバナンス」プロジェクト、リモートセンシング・地理情報システム (RS/GIS) 専門家会議
報告内容	<p>ILBM(統合的湖沼流域管理)の事例への適用に向け、国外からの専門家3名、国内在住の海外研究者2名を含めた参加者とともに、下記のプログラムに基づき課題を検討した。来年度の応用事例研究に向け、年度末の報告書作成に向けて作業を継続する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 統合的湖沼流域管理 (ILBM) の概念とプロジェクトの概要</li> <li>● ILBMのためのRS/GISの必要性に関する総合議論</li> <li>● ILBMのためのRS/GISの課題(何が可能か?近い将来何が可能になるか?不可能な点は何か?)</li> <li>● 途上国向けのRS/GISの低コストシステムの導入(現在導入できるものは何?導入に関する問題は何か?)</li> <li>● RS最新技術に関するTutorial、GIS最新技術に関するTutorial</li> <li>● EGM1結果・結論の報告書ドラフト作成について</li> <li>● プロジェクト湖沼のためのマップ作成について</li> </ul> <p>なお、事例として発表および具体的検討の材料としてキョウガ湖、(Gyllenhammar)、グレートソルト湖 (Bradt)、ラグナ湖 (Varcas)、ナクル湖 (Muhandiki) を取り上げた。</p>